

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 3 月 13 日 (2014.3.13)

【公表番号】特表 2013-503882 (P2013-503882A)

【公表日】平成 25 年 2 月 4 日 (2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報 2013-006

【出願番号】特願 2012-528005 (P2012-528005)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/445

A 6 1 P 31/20

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 27 日 (2014.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

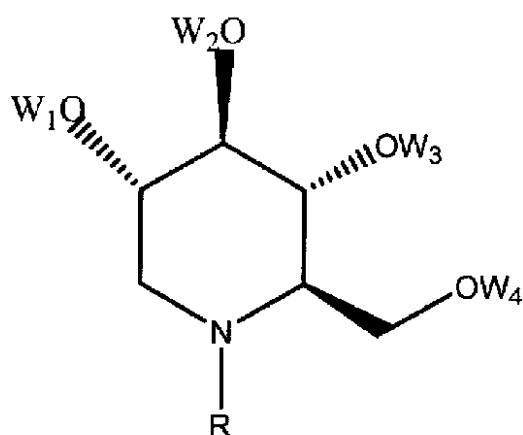
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象において、ボックスウイルス科に属するウイルスに起因または関連する疾患または状態を治療または予防するための医薬組成物であって、式

【化 1】

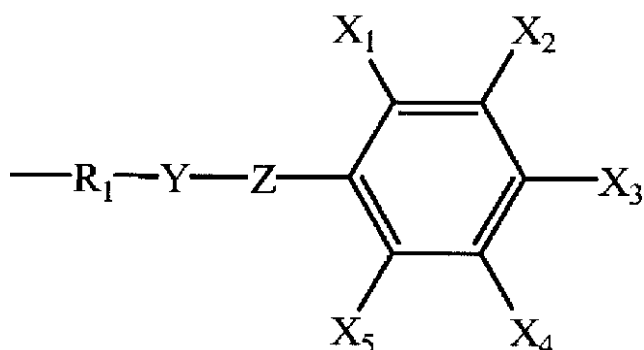


の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩を含む医薬組成物：

〔式中、

R は置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換シクロアルキル基、置換もしくは非置換アリール基、または置換もしくは非置換オキサアルキル基から選択され；または式中、R は

【化 2】



であり、

R₁ は置換または非置換アルキル基であり；

X₁ ~ X₅ は H、NO₂、N₃、または NH₂ から独立に選択され；

Y は存在しない、またはカルボニル以外の置換もしくは非置換 C₁ アルキル基であり；
および

Z は結合または NH から選択され（ただし、Z が結合である場合、Y は存在せず、Z が NH である場合、Y は、カルボニル以外の置換もしくは非置換 C₁ アルキル基である）；
および

式中、W₁ ~ W₄ は、水素、置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換ハロアルキル基、置換もしくは非置換アルカノイル基、置換もしくは非置換アロイル基、または置換もしくは非置換ハロアルカノイル基から独立に選択される]。

【請求項 2】

W₁、W₂、W₃ および W₄ の各々が水素である、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 3】

R が、置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換シクロアルキル基、置換もしくは非置換アリール基、および置換もしくは非置換オキサアルキル基から選択される、
請求項 1 または 2 に記載の 医薬組成物。

【請求項 4】

R が C₆ ~ C₁₂ アルキルまたはオキサアルキル基である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の 医薬組成物。

【請求項 5】

R が C₈ ~ C₁₀ アルキルまたはオキサアルキル基である、請求項 4 に記載の 医薬組成物。

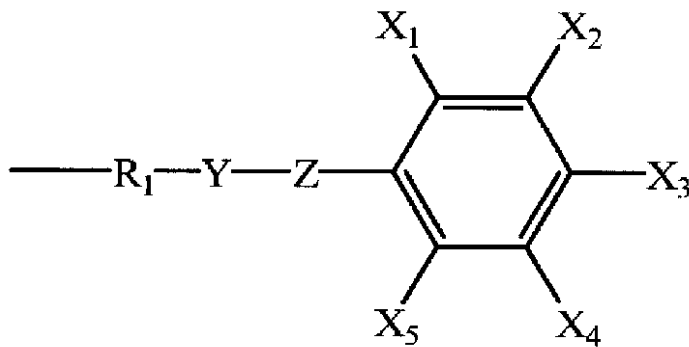
【請求項 6】

前記化合物が、(i) N - (9 - メトキシノニル) デオキシノジリマイシンもしくはその薬学的に許容可能な塩； (ii) N - (N - {4' - アジド - 2' - ニトロフェニル} - 6 - アミノヘキシル) デオキシノジリマイシンもしくはその薬学的に許容可能な塩； (iii) N - (7 - オキサデシル) デオキシノジリマイシンもしくはその薬学的に許容可能な塩；または (iv) N - ノニルデオキシノジリマイシンもしくはその薬学的に許容可能な塩である、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 7】

R が

【化 3】



である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

X_1 が NO_2 であり、 X_3 が N_3 である、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

X_2 、 X_4 および X_5 の各々が水素である、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記対象が哺乳動物である、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記対象がヒトである、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記疾患または状態が天然痘である、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記ウイルスがオルソポックスウイルス科に属する、請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記ウイルスが痘瘡ウイルスである、請求項 1 ～ 13 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記ウイルスがワクシニアウイルスまたは牛痘ウイルスである、請求項 1 ～ 11 および 13 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

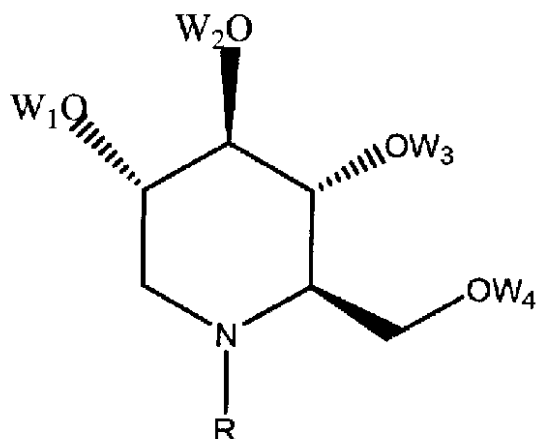
【0087】

本明細書に引用された出版物、特許出願および特許の全ては、その全体が参照により本明細書に組み込まれる。

以下に、本願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[1] ポックスウイルス科に属するウイルスに起因または関連する疾患または状態の治療または予防方法であって、これを必要としている対象に、有効量の式

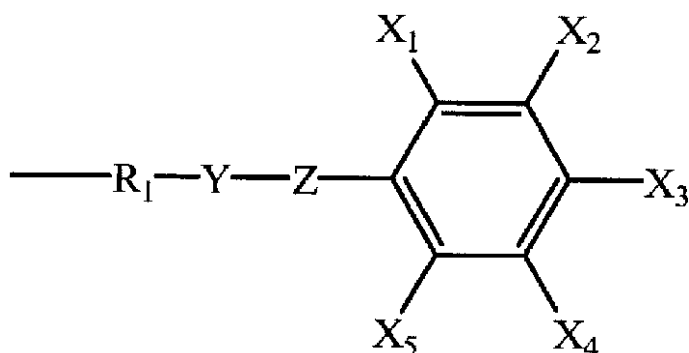
【化 7】



の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩

[式中、R は置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換シクロアルキル基、置換もしくは非置換アリール基、または置換もしくは非置換オキサアルキル基から選択され；または式中、R は

【化 8】



であり、

R_1 は置換または非置換アルキル基であり；

$X_1 \sim 5$ は H、 NO_2 、 N_3 、または NH_2 から独立に選択され；

Y は存在しない、またはカルボニル以外の置換もしくは非置換 C_1 アルキル基であり；および

Z は結合または NH から選択され（ただし、Z が結合である場合、Y は存在せず、Z が NH である場合、Y は、カルボニル以外の置換もしくは非置換 C_1 アルキル基である）；および

式中、 $W_1 \sim 4$ は、水素、置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換ハロアルキル基、置換もしくは非置換アルカノイル基、置換もしくは非置換アロイル基、または置換もしくは非置換ハロアルカノイル基から独立に選択される]

を投与することを含む方法。

[2] W_1 、 W_2 、 W_3 および W_4 の各々が水素である、[1] に記載の方法。

[3] R が、置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換シクロアルキル基、置換もしくは非置換アリール基、または置換もしくは非置換オキサアルキル基から選択される、[1] に記載の方法。

[4] R が C 6 ~ C 12 アルキルまたはオキサアルキル基である、[1] に記載の方法。

[5] R が C 8 ~ C 10 アルキルまたはオキサアルキル基である、[1] に記載の方法。

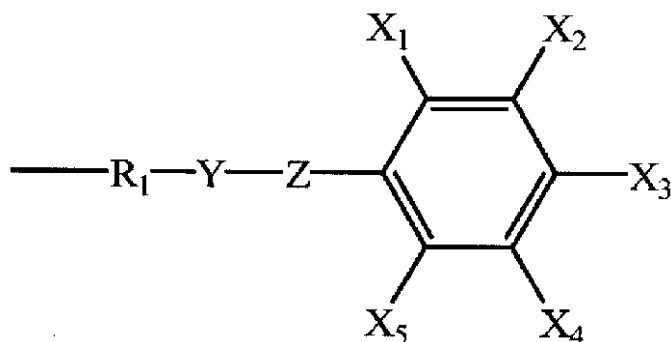
[6] 前記投与が、N - ノニルデオキシノジリマイシンまたはその薬学的に許容可能な塩を投与することを含む、[1] に記載の方法。

[7] 前記投与が、N - (7 - オキサデシル) デオキシノジリマイシンまたはその薬学的に許容可能な塩を投与することを含む、[1] に記載の方法。

[8] 前記投与が、N - (9 - メトキシノニル) デオキシノジリマイシンまたはその薬学的に許容可能な塩を投与することを含む、[1] に記載の方法。

[9] R が

【化 9】



である、[1] に記載の方法。

[10] X₁ が NO₂ であり、X₃ が N₃ である、[9] に記載の方法。

[11] X₂、X₄ および X₅ の各々が水素である、[9] に記載の方法。

[12] 前記投与が、N - (N - { 4' - アジド - 2' - ニトロフェニル } - 6 - アミノヘキシル) デオキシノジリマイシンまたはその薬学的に許容可能な塩を投与することを含む、[1] に記載の方法。

[13] 対象が哺乳動物である、[1] に記載の方法。

[14] 対象がヒトである、[1] に記載の方法。

[15] ウイルスがオルソポックスウイルス科に属する、[1] に記載の方法。

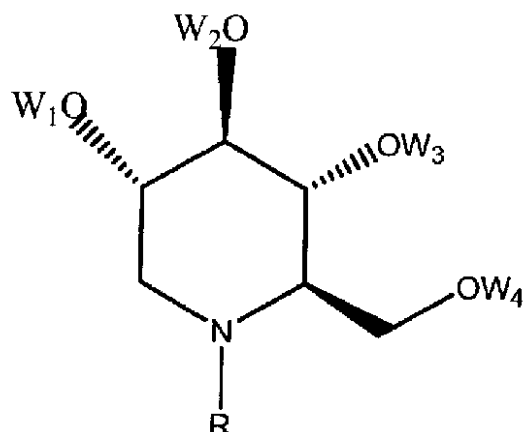
[16] ウイルスがワクシニアウイルスである、[15] に記載の方法。

[17] ウイルスが牛痘ウイルスである、[15] に記載の方法。

[18] 前記投与が、N - (9 - メトキシノニル) デオキシノジリマイシンまたはその薬学的に許容可能な塩を投与することを含む、[17] に記載の方法。

[19] ポックスウイルス科に属するウイルスに感染した細胞の感染性の方法であって、ポックスウイルス科に属するウイルスに感染した細胞を、有効量の式

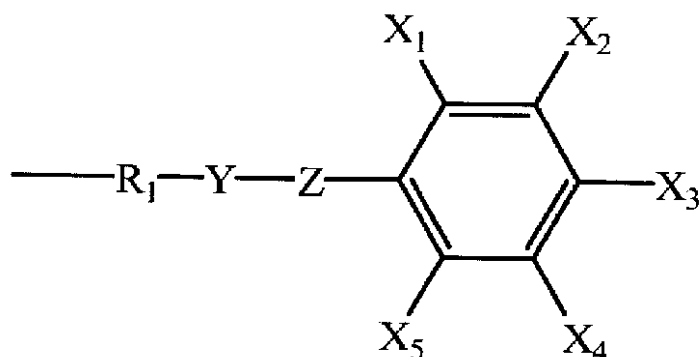
【化 1 0】



の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩

[式中、R は置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換シクロアルキル基、置換もしくは非置換アリール基、または置換もしくは非置換オキサアルキル基から選択され；または式中、R は

【化 1 1】



であり、

R_1 は置換または非置換アルキル基であり；

$X_1 \sim 5$ は H、 NO_2 、 N_3 、または NH_2 から独立に選択され；

Y は存在しない、またはカルボニル以外の置換もしくは非置換 C_1 アルキル基であり；および

Z は、結合または NH から選択され（ただし、Z が結合である場合、Y は存在せず、Z が NH である場合、Y はカルボニル以外の置換もしくは非置換 C_1 アルキル基である）；および

式中、 $W_1 \sim 4$ は、水素、置換もしくは非置換アルキル基、置換もしくは非置換ハロアルキル基、置換もしくは非置換アルカノイル基、置換もしくは非置換アロイル基、または置換もしくは非置換ハロアルカノイル基から独立に選択される]

に接触させることを含む方法。